

義歯使用者にかかわるすべての人に読んでもらいたい1冊



診療室・病院・訪問・介護の現場すべてに対応 絶対知りたい義歯のこと

藤本篤士・糸田昌隆・松尾浩一郎・武井典子 編著

B5判/160頁 定価：4,000円＋税
医歯薬出版（2016年10月）

地域食支援グループハッピーリーブス
評・篠原弓月（歯科衛生士）



超高齢社会において、義歯の手入れやメンテナンスは装着している本人だけでなく、リハビリテーション職、看護師、介護者など、多くの人に関係します。ところが他職種においても義歯に関する知識の必要性が高まっているにもかかわらず、他職種の教育のなかで義歯について学ぶ機会はほとんどありません。デリケートな口腔の、さらに可撤式義歯という本来なら患者さんが「触れてほしくない」「知られたくない」と思う装具だからこそ、よりていねいに、そして正しく取り扱う必要があります。そんな状況を考慮して、2003年12月に発行された後、増刷を重ねたデンタルハイジーン別冊『もっと知りたい義歯のこと』に、最新の知見を取り入れ、歯科関係者はもちろん他職種も義歯の全体像を学ぶことができる“義歯のバイブル”となるべく発行されたのが本書です。

本書は巻頭に歯科医師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士による「多職種協働でさせたい生活のなかの義歯」をテーマとした座談会が紹介されています。訪問診療では義歯の問題が「口腔の障害」なのか、「生活を障害している」のか、「生死にかかわっている」のかを歯科関係者だけではなく、多職種が連携し、見きわめる必要があると書かれています。

Chapter 1～3では義歯の基本、メンテナンスの実際、病院や施設での義歯への対応について、カラー写真を豊富に使いわかりやすく解説されています。Chapter4では現場で歯科衛生士が相談を受けることの多い義歯に関する内容が17項目のQ & Aとして紹介されており、根拠に基づいた回答が綴られています。たとえば、Q1では義歯の着脱に慣れていない他職種でも一目で義歯の着脱方法がわかるように、多くの写真とポイントで説明されています。また、Q13ではがん治療中の患者さんの義歯装着に関する注意点や、装着を控えたい時期について学ぶことができます。

7項目あるコラムでは、近年多発している災害時の義歯喪失の問題や認知症の方の義歯の問題、保険適用の義歯と自費診療による義歯の違いについて書かれています。巻末付録ではホームケア用とプロフェッショナルケア用の義歯洗浄剤と義歯安定剤（義歯粘着剤）について、発売元・製品名・成分・液性などの項目に分かれ、見やすい表にまとめられています。

義歯は審美性だけでなく「食べる・しゃべる・笑う」といった人生の充実に関与し、フレイルサイクルを断ち切る栄養サポートの一面をも担っています。義歯について学ぶ多職種に、また学びなおしたいと考えている歯科衛生士に、自信をもって本書を推薦します。